

気持ちと和らげる絵本

東日本大震災が起きたのは、カナダの自宅で東京の編集者と連絡を取り合っている時でした。日本でどんなことが起きているのかわ



からず心配でした。翌日から数日間、震災のニュースを見続けました。つらい気持ちになりましたが、見ずにはいられませんでした。

絵本作家

島田ゆかさん

＝カナダ・オンタリオ州



4月下旬、東京で開かれた原画展に、被災地から埼玉県へ避難していた親子を招いて、読み聞かせの会をしました。その時1人のお母さんが「子どもたちは絵本を読んでいる時は、怖いことや嫌なこ

とを忘れられるようです」と話していました。絵本は32冊しかありませんが、子どもを一時でも安心させるすべ

と、改めて思いました。作品を作っていると、読者の皆さ

【聞き手・木村葉子】

本の配布先募集

東日本大震災で被災した子どもたちに本を贈る「いっしょだよ」キャンペーンに取り組む財団法人大阪国際児童文学館、大阪府書店商業組合、毎日新聞社、毎日新聞東京・大阪・西部社会事業団は、本の配布先を募っています。本を失い、必要としている学校、幼稚園、保育所、児童館、地域文庫などが対象です。施設や子ども

の人数、年齢などに応じて本を選んで購入し、汚れや破損を防ぐ保護カバーをつけて届けます。避難所の場合は、閉所後に学校図書館などへの移管をお願いします。

問い合わせは(財)大阪国際児童文学館「いっしょだよ」キャンペーン事務局(06・6744・0581。http://www.iiclo.or.jp/)へ。寄付金は毎日新聞大阪社会事業団(郵便振替00970・9・12891)へ。通信欄に「子どもの本」、紙面掲載で匿名を希望される方は「匿名希望」と明記ください。